個別の指導計画

Ａ-１

**様式例**

**氏名　　　　　学年　　　　障がい名等　　　　　　　　　　　　　　作成日**

**１　個々の実態を的確に把握する**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **①　障がいの状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさ等** | | | | | |
|  | | | | | |
| **②　収集した情報を自立活動の区分に即して整理する。** | | | | | |
| **健康の保持** | **心理的な安定** | **人間関係の形成** | **環境の把握** | **身体の動き** | **コミュニケーション** |
|  |  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| **収集した情報を○○年後の姿の観点から整理** |
|  |

**２　実態把握に基づいて課題同士の関連と指導すべき課題の整理**

**【課題同士の関連】**

**【指導すべき課題】**

**３　今、指導すべき目標として**

**４　指導目標を達成させるための必要な項目選定**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **健康の保持** | **心理的な安定** | **人間関係**  **の形成** | **環境の把握** | **身体の動き** | **コミュニケーション** |
| (1) 生活のリズムや生活習慣の形成  (2) 病気の状態の理解と生活管理  (3) 身体各部の状  態の理解と養護  (4) 障がいの特性の理解と生活環境の調整  (5) 健康状態の維持・改善 | (1) 情緒の安定  (2) 状況の理解と変化への対応  (3) 障がいによ  る学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲 | (1) 他者とのかかわりの基礎  (2) 他者の意図や感情の理解  (3) 自己の理解と行動の調整  (4) 集団への参加の基礎 | (1) 保有する感覚の活用  (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応  (3) 感覚の補助及び代行手段の活用  (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動  (5) 認知や行動の  手掛かりとなる概念の形成 | (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能  (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用  (3) 日常生活に必要な基本動作  (4)身体の移動能力  (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行 | (1) コミュニケーションの基礎的能力  (2) 言語の受容と表出  (3) 言語の形成と活用  (4) コミュニケーション手段の選択と活用  (5) 状況に応じたコミュニケーション |

●

●

●

●

●

●

●

●

●

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **指導内容** |  |  |  |
| **指導**  **場面** | 教育活動全体  時間における指導 | 教育活動全体  時間における指導 | 教育活動全体  時間における指導 |
| **評価** |  |  |  |
| 【次年度に向けた引き継ぎ】 | | | |

＊様式例は、福島県特別支援教育センターWebサイトからWord版をダウンロードすることができます。